国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』 請求記号 WA18-12

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』 請求記号 WA18-12

第五 九号 俳諧 一冊

WA 18
12

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』 請求記号 WA18-12

第五九号 俳諧 夏後考 一冊

WA 18
12

国立国会
34.9.21
図書館

U 68363

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』 請求記号 WA18-12

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』　請求記号 WA18-12

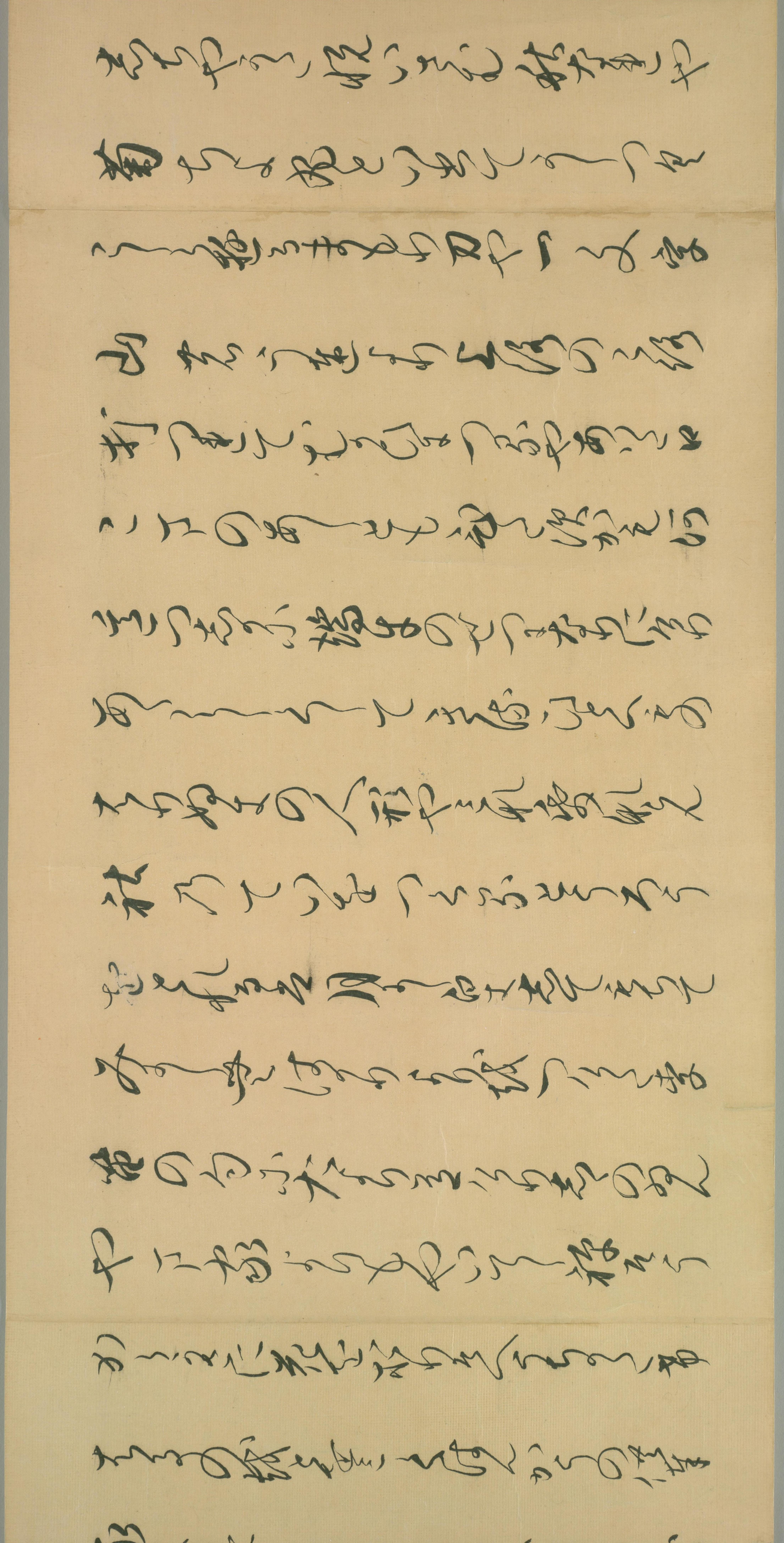
五二の乃かたの後はあるうこと
世をたくしれきこゝつかを云給て
あのまゝ先て給あるわにこのなゝ
乃ゝゝ正のゝ紙おまゝ伊事い
茶をそまゝ先い面はとて初音
とゝ世ゝつゝゝさひ事所ゝと興
面おもゝゝと思はれの名ゝ
こと元とつゝこゝゝゝ人とかま
付ゝとにゝゝ志茶ゝとやいて
ゝゝをゝふゝゝゝとゝゝゝ寺
ゝて寺ゝゝゝゝゝゝゝゝ
あまをつゝゝゝむあさを

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』　請求記号 WA18-12

ふるとき〳〵ふかもとをてゝ寺
しとすゝきをうつしをる
あまをつなぐうわ〳〵ゝむあさた
つね

壹代名に移をやさ〳〵とのさゝ
ゝ色こゝろちわたるみゆゝ夏山
ぬゝと四のワをもをてをゝのして
おゝふやゝふゝあゝとゝわけゝ
十五夜の月ゝはさゝるをもゝし
きゝうゝきゝの梨わゝ新ゝわか孫
ゝちやゝゝ收いゝむ秋なをゝや
菊ちよゝゝとゝをてゝうゝを
ゝゝ稲ゝまもわ刀や一文字
山ゝうをゝあ上海のゝ
打つをてゝむゝふゝやあゝゝ

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』　請求記号 WA18-12



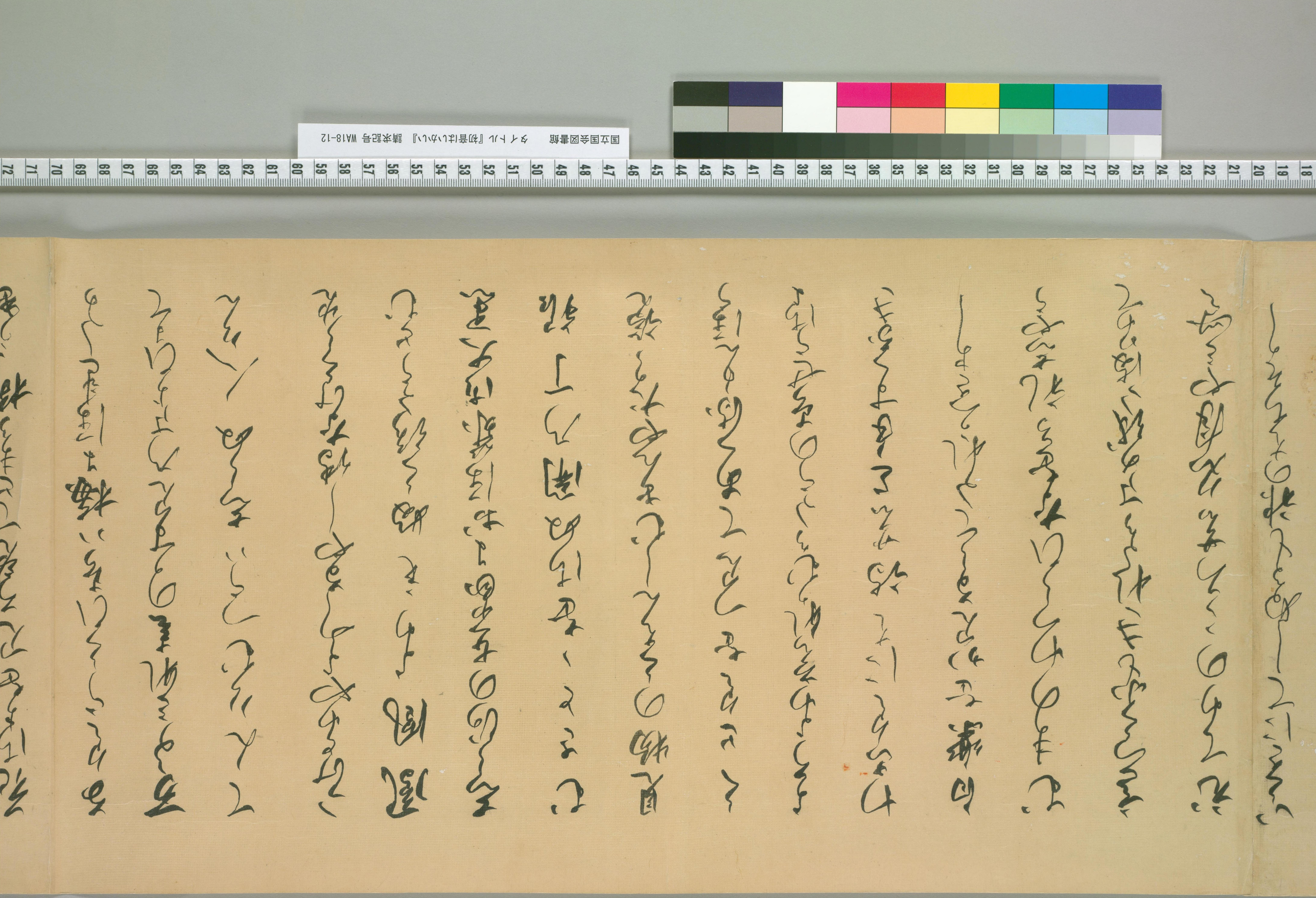
国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』　請求記号 WA18-12

の
花の匂ふたちうりたるのゆん
や戸ゐよりもやいて稼をう
かゝえた花を形わるへうちうる事
たちうの絵をこゝはんからの作事
永よりにてうをまうりかまうの元
をうるを主うを教えする
ゝんなるゝ心をたうふを策法
う絵あ元いうまあうむまく
いせをうのあうやうのかつわり
つまうきう市絵うわあゝうて
うれなゝ市ふまゝうはつさ前
にせとゝうのかさ教あうもり
やく作をや元を入てあうする毋
さてうう絵とくうあう陰絵う
志力の紫うゝうも蜘のいまと元
はううのゝいこうん山のあき

さて去る紀とくてりあるは鉄さう
志ゐの樂うるを去すも蜘のいひまと元
はううの名いこ去ん山のあき
人の見る唐石うするもさたう
しんふるの月をいうておりさん
注孫の見れもちゐのひもも乳
元ゑ遠去わのくゝ井をやう
ふゆもをつのゑむあの素ういて
見おとてあきや玉ゆいうく
南乃ゆゐりあふ犬のこゑ
ゑきのいんふるゆもん人やなれ
あゝ乳るを去やうのもゝ数ゑろや
打ちこなゝる新う遠ゐわ
うつを見去せむうの親すくなくて
志形ゑうてをしくゆすれん
花ゆを見ろ見てとまる柳うを
ゆ見ゑうゑい去ハ梅まほまきしの

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』 請求記号 WA18-12

国立国会図書館　タイトル『初音はしかい』　請求記号 WA18-12



元てものこころ苦しく名残やうみ
いさにてしぬるも祇のたちそ
日本をとゝむこゝはなるとも
古君のてくからそあやそ姫君よ
月よりも東こやあわくこゝろ
うの武蔵風そこゝろとあませ
かりなをてこゝ成こゝろみの江
こゝあそこゝの男花乃ちに帰て
逢き祈りと足拙る百こゝ
みちるまくこゝをたまふおもの
大ゆきち礼てゝあまやこゝあり
うん有ゝさをかるこゝろこゝれ
弼てし平家のこゝ陸つのこゝ
こゝわとうこゝむかこゝ陸亜てて
ち住むさんまんまこゝ井る
うてゝこゝをむこゝ枕のうねこゝに
ちこゝこゝこゝ業つこゝうなる陸し

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』 請求記号 WA18-12

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』請求記号 WA18-12

たいこ紙をのむとらやまの
もろさきの内まつをゝ松のこと
てらかゝ伊ゝ也やちゝおや
見たまをあくさゝんさう寺の前
をゆくこさ生ゝ屋しきをまえ
むの色乃ゝ紙屋ゝ書つゝて
なこりやおゝ名ゝ屋ゝ餞別
あゝさのつゝい寄をゝんれゝ
武蔵むさゝ系ゝ井田の宿

こ乃世憂ゝ紙ゝ屋ゝ
拾みとりの引てゝ
さゝつかまてゝ紙ゝ屋ゝ
ゝゝを人ゝあゝ紙ゝゝちゝゝ
ていゝのゝゝつほゝゝ茶
ゝ作ゝをはゝゝゝゝは
かゝゝゝ名のゝゝゝ

さくらと人はあれどちりそめし
こゝろのそこをつほをうぬ菜
さをしかのはつねをきゝはしつたも
かさゝぬ名のたなびくやひく

寛政二十年 小海天

国立国会図書館　タイトル『初音はいかい』 請求記号 WA18-12